	2　投資額の算定 次の算定式により局ごと総合デジタル通信局内回線終端装置投資額を求め、全ての局について当該投資額を合算し、総合デジタル通信局内回線終端装置投資額を算定する。 ⑴　総合デジタル通信回線収容交換機（ソフトウェア回線収容部相当）投資額 ＝（総合デジタル通信回線収容交換機ユニット数×総合デジタル通信回線収容交換機ソフトウェア単価） ×総合デジタル通信回線収容交換機（回線収容部）投資額 ÷（総合デジタル通信回線収容交換機（回線収容部）投資額＋総合デジタル通信回線収容交換機（ユニット部）投資額） ⑵　局ごと総合デジタル通信局内回線終端装置投資額 ＝き線点遠隔収容装置収容総合デジタル通信サービス回線数 ×き線点遠隔収容装置総合デジタル通信サービス回線単価 ＋総合デジタル通信回線収容交換機（回線収容部）投資額 ＋総合デジタル通信回線収容交換機（ソフトウェア回線収容部相当）投資額
アナログ局内回線収容部	1　設備量の算定 ⑴　音声収容装置の設備量の算定において求めた音声収容装置シェルフ数を局ごとの音声収容装置シェルフ数とする。 ⑵　収容局ごとに、当該局が収容するき線点ごとのアナログ電話回線数の合計を当該局のき線点遠隔収容装置収容アナログ電話回線数とする。 2　投資額の算定 次の算定式により局ごとアナログ局内回線収容部投資額を求め、全ての局について当該投資額を合算し、アナログ局内回線収容部投資額を算定する。 ⑴　音声収容装置（ソフトウェア回線収容部相当）投資額 ＝（音声収容装置シェルフ数×音声収容装置ソフトウェア単価） ×音声収容装置（回線収容部）投資額 ÷（音声収容装置（回線収容部）投資額＋音声収容装置（ユニット部）投資額） ⑵　局ごとアナログ局内回線収容部投資額 ＝き線点遠隔収容装置収容アナログ電話回線数 ×き線点遠隔収容装置アナログ電話回線単価 ＋音声収容装置（回線収容部）投資額 ＋音声収容装置（ソフトウェア回線収容部相当）投資額
アナログ・デジタル回線共通部	1　設備量の算定 収容局ごとに、当該局が収容するき線点ごとの第一種総合デジタル通信サービス回線数及びアナログ電話回線数の合計を当該局のき線点遠隔収容装置収容回線数とする。 2　投資額の算定 次の算定式により局ごとアナログ・デジタル回線共通部投資額を求め、全ての局について当該投資額を合算し、アナログ・デジタル回線共通部投資額を算定する。 局ごとアナログ・デジタル回線共通部投資額 ＝き線点遠隔収容装置収容回線数×き線点遠隔収容装置回線単価
主配線盤	1　設備量の算定 ⑴　局ごとに、当該局に直接メタル回線で収容される回線数及びき線回線予備率分の回線数の合計を主配線盤回線収容率で除したもの（１に満たない端数は、切り上げるものとする。）を当該局の主配線盤端子数とし、専用線サービスに係るもの（回線数比により算定するものとする。）を控除したものを当該局の音声系主配線盤端子数とする。 ⑵　⑴の主配線盤端子数を主配線盤架当たり回線数で除したもの（１に満たない端数は、切り上げるものとする。）を当該局の主配線盤架数とし、専用線サービスに係るもの（回線数比により算定するものとする。）を控除したものを当該局の音声系主配線盤架数とする。